

室原会だより

Vol. **76**

春号

平成26年5月12日

ふれあい

(題字 室原亥十二)

医療法人室原会創立50周年

特集

医療法人室原会 理事長交代のお知らせ

医療法人室原会50周年に寄せて

ドクターズ・ファイル

菊南病院 副院長 加古博史先生

ふれあいア・レ・コ・レ

...and more

室原内科・小児科

〒862-0949
熊本市中央区国府1丁目11番9号
Tel 096-364-3080 Fax 096-366-4668

菊南病院

〒861-5517
熊本市北区鶴羽田3丁目1番53号
Tel 096-344-1711 Fax 096-344-1726

水前寺高齢者複合施設

〒862-0949
熊本市中央区国府1丁目3番15号
Tel 096-364-1210 Fax 096-364-1221

グループホームきくなん

〒861-5517
熊本市北区鶴羽田3丁目11番15号
Tel 096-345-2260 Fax 096-345-2261

新理事長 室原良治 (菊南病院院長)

なお、前理事長の室原亥十二は同日付で会長に就任致しますので、併せてお知らせいたします。



医療法人室原会理事長

室原 良治

「法人として 受け継ぐこと」

昭和三十九年五月一日の医療法人設立から、今年で五〇年を迎えます。その間に、室原病院、菊南病院、水前寺高齢者複合施設、グループホームもきくなん、健康管理センターなどの医療系施設を設立し、発展することができました。地域の皆様の支えに深く感謝申し上げます。

室原亥十二会長（前理事長）は毎日来院される患者さんを診ながらこれらの事業を展開してきました。その基本方針は、患者さんから求められたら必ず応じることです。どんなに組織が大きくなっても自らが高齢になっても「町医者だけね」と診療時間に関係なく受診した方を診ます。患者さんと顔を突き合わせて話すことで、ニーズを直接感じてそれを具現化してきたのです。

この現場主義が我々医療法人室原会の受け継いでいくDNAと考えております。今後、医療の進歩、死生観の変化、人口構成の変化などに対応して社会のニーズは推移していきますが、「町医者が患者を診る」という基本姿勢を忘れずに今後の法人を運営していきたいと考えております。



菊南病院



室原内科・小児科

医療法人室原会創立50周年 並びに理事長交代にあたり

医療法人室原会会長

室原 亥十二

一九六四年（昭和三十九年）室原病院開業以来五〇年が経ちました。いつの間にか卒寿を迎えていました。ここらあたりがタイムリーかと、理事長を三月に息子良治院長に譲ることにしました。

この間、医療・介護行政の変革の対応や、その他いろいろと逆風に遭遇しましたが、その都度なんとか耐え忍んで大過なく現在までやってこられたのは、職員の皆さんの協力と、また平成になってから良治院長が戦列に加わり、強力にサポートしてくれたお蔭だと、併せて感謝しています。

今後とも宜しくお願い致します。

医療法人室原会理事長交代の臨時総会

前理事長 室原 亥十二

日 時：平成 26 年 3 月 6 日

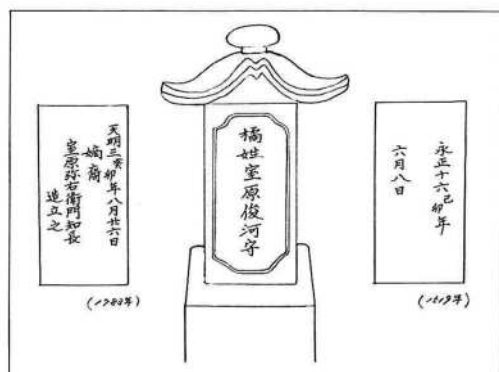
参加者：理事 6 名（室原亥十二、鈴子、一仁、良治、古庄伸行、米満弘之）

全員異議なしで良治理事が理事長として承認されました。

一人、長男一仁理事が健康上の理由でドクターコースを阻まれた今は、患者の立場で診療側を見ていて気付いたこととして、一般的に患者の目線への配慮が少ないようだと言言がありました。自分も医療・福祉関係の講演会に機会を見て出席して思うことは、主体は患者さんですが往々にして提供側の立場で対応して終わることがあるのではないかと感じました。難しいことだと思いますが、努めて患者さんの立場になってみる必要があるのではないかと意見でした。

室原一族のルーツ、小国町室原「千人塚」

室原会の今回の理事長交代にともなう沿革について前頁に説明しましたが、更に歴史をさかのぼって室原一族のルーツについて、小国地方の足跡・遺跡約 500 年を現在までたどってみます。



碑文の拓本

写真は、小国町室原地区の千人塚と呼ばれている小高い丘の林の中に建っている石碑の碑文を私が拓本にとらしたものです。

正面には辛うじて『橘性室原俊河守鑑知』側面に『永生十六年（1519年）』背面に『天明三年八月二六日（1783年）嫡裔室原右衛門知長造立之』と刻記されています。

小国郷土誌全3巻（禿迷廬著）によりそれぞれの時代背景をみると1519年はおそらく鑑知の没年かと思われるが、室原一族では彼を中心として数代に亘り戦国時代の足利義植將軍の頃に阿蘇氏の輩下として、外来者の大友氏、島津氏へ敵対し、阿蘇・菊池・御船・隈本まで一族郎党を引き連れて活躍。その功に対して感謝文が数

多く残されています。

時代は下がって1783年、この碑を造立した室原右衛門知長は嫡裔とあるように何代目かの子孫であり、時代は徳川10代將軍家治の治世にて地侍はずで存在しえず、国内各地で百姓一揆が頻発した不穏な世状の中にあリ、特に目立つこともなく小国の一村落で農民、庄屋として江戸より明治・大正・昭和・平成と続き現在の私共に至っています。

私の系統は分家で、本家は小国地方の室原一族の菩提寺眞光寺の近く、樹齢 1300 年以上の阿弥陀杉のある本村にあります。

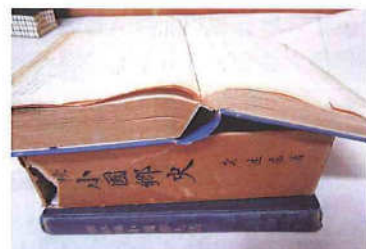
冠に橘性がついているのは南北朝時代に河内あたりから、逃れてきたとの口伝もあります。



○「愛林治水」千年の碑

この写真は、2013年10月10日下笠松原ダムサイドに私が小国町、小国町森林組合に寄付して立てました。

「愛林治水」千年の碑です。



（小国郷土誌全3巻）

室原 亥十二

医療法人室原会50周年を祝して



医療法人社団寿量会 熊本機能病院
会長・総院長 米満 弘之

医療法人室原会開設50周年、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

昭和33年、室原亥十二先生が室原医院を開設され、今日までの50年のあゆみは素晴らしい臨床医療の足跡でもあります。室原亥十二先生が戦後、東京大学工学部を卒業され、すぐ熊本大学医学部に御入学、医師の道を歩かれたエピソードは余りにも有名であります。戦後の荒廃を目の当たりにされ、これから日本を復興させるためには心身共に疲弊した国民を奮い立たせ、健康な心身を育成するとお考えになってこの道を選ばれたものと思います。この50年間、室原医院と菊南病院を中心に地域医療につくされたお姿に感動と尊敬の気持ちで一杯であります。室原亥十二先生がまさに開設50年を経て、御子息の室原良治先生に理事長職をお譲りになってホッとされたお顔を拝見し、胸に込み上げるものがありました。室原亥十二先生のお若さ、壮健さはどこから湧き出てくるのか大変不思議であります。先生の永年にわたる医療にかけられた情熱と実践が現在の室原亥十二先生のお姿であり、人生への激しい信念の実行がすべてだと思います。地域医療にかけられたお姿には崇高な光があります。

先生は医療活動だけでなく医師会活動、スポーツ（ボート競技）にかけられた情熱もまた凄いもので熊本県ボート協会会長とし尽力され、熊本県体育功労者賞を受賞、平成20年には旭日双光章を受勲されておられます。

今日の室原亥十二先生のお姿がありますのは、御子息であられる室原良治先生の御支援が大変大きいものと信じます。又、御令室様や御家族の大きな力添えも素晴らしいものと思います。

新しく理事長に就任されました室原良治先生を先頭に故良治先生御令室様がお見守りの中、室原会（室原医院、菊南病院）の益々の御発展を祈念申し上げます。

■ 50周年の思い出

昭和47年、友人の紹介で室原病院へと就職。その後、菊南病院へ配属となった。

室原病院に在職中、忘れられない事が一つある。或る日救急車が到着、一人の若い女性の、ゴウゴウという大きなイビキが病棟中に響き渡った。散髪屋の見習いさんという。急性肝炎で、それから院長の熱意溢れる診療が始まった。

外来患者を一人診察しては二階の病室へ、二人診察しては病室へと私の記憶では夕方17時まで多い時で9回以上訪室されていた。

患者さんのイビキは相変わらずで、私も心配した。どれくらい日々が経ったか忘れたが、患者さんが元気に退院する事になった。その日、お母さんが「婦長さんだけに話します、先生には内緒にしてください」と切り出された。「(娘さんの事を)知り合いの先生に話しました、室原先生に預けておけば大丈夫と言われたが、

菊南病院 初代看護部長 米満千代子

人吉のおじいちゃんが自分のかかりつけ医に相談して、大学病院に移した方がいいですと言われた事を話したら、『絶対移したら駄目。室原病院なら大丈夫』と言われ、どこへも移しませんでした。こんなに元気にして頂き有難くて嬉しい限りです」と。

それから数年後、その娘さんが二歳くらいの女の子を連れてお礼に来ましたとの事。結婚後、子供にも恵まれましたと言われ、思わず涙が溢れた。今もその人の名前を忘れる事が出来ない。

菊南病院に移ってからも色々な患者さんとの出会いがあるなど、室原会が地域への貢献の礎となり医師としての強い責任感と、患者さんからの信頼を得た職員との出会いによる充実した看護師生活が現在90歳を迎えた私の基盤となっている。当時の仲間に深く感謝しています。

■ 祝 50 周年

患者さんへの対応や人の命の尊さを教わり親子3世代にわたる患者さんと共に創立50周年を迎えられ、その歴史に少しでも携わってこれた事を嬉しく思います。これからも益々のご発展を祈念いたします。

(勤続35年 黒田)

創立50周年おめでとうございます。幾つになられても、次から次に新しい事を考えだされる先生だからこそ、半世紀に渡り続いてきたのだと思います。50年という長い歴史に、私もほんの少しの時間ですが加わることができ嬉しく思います。

(勤続16年 古谷)

創立50周年おめでとうございます。長い歴史の中に数年ですが、職員として関わらせて頂いていること大変嬉しく思います。室原でお世話になって10数年、様々な事を学び成長させて頂き深く感謝申し上げます。これからも宜しく願います。

(勤続15年市川)

創立から50年を迎えた室原会。そのうち私が働かせて頂いたのは11年になります。何も解らなかつた看護学校時代から、沢山の事を学ばせて頂き有り難うござ

室原内科職員一同

います。これからも末永く続く室原会に携わっていただけたいです。

(勤続11年 和田)

成人式・結婚・出産を室原で迎え、退職して去った職員を送り出して、はや半世紀!

今年5月7日で91歳になられる院長は、今後も生涯走り続けておられることでしょう。50周年おめでとうございます。

(勤続9年増田)

創立50周年おめでとうございます。ここに勤務して4年目の私ですが、院長先生を始め先輩方の温かいご指導にいつも助けられ感謝の日々です。また患者様にお会いするのが楽しみです。室原会がこれからも益々発展していく事をお祈りします。

(勤続4年 佐藤)

「継続は力なり」院長を始め特殊外来の先生方で室原内科を築かれており、3世代にわたる患者様が50年という御活躍を語っていると思います。私は初心を忘れずに、これからも院長の御指導の下についていきたいです。

(勤続1年 高田)

菊南病院 副院長 古庄 伸行

わたしが入職して16年が経ち、現在勤務している医師の中では室原良治新理事長に次ぐ二番目の古参になりました。そこで医局を代表して、一言述べさせていただきます。

わたしが勤務した16年の間でも菊南病院は、大きく変化してきました。中でも大きかったのが、現在の本館の新築と東病棟・北病棟の改築だったと思います。これにより外来件数、人間ドック件数が増加し、上部消化管内視鏡検査や超音波検査数も著しく増加しました。さらに、医療制度の変遷に伴い、一般病棟、介護病棟、医療療養病棟、回復期病棟など、多様なニーズに応じたサービスの多様化が必要であり、今後も頭を悩ませそうな問題が次々と襲ってくるものと思われま

す。そのような中でも、我々医師一同は、他の部署と連携しながら、地域のため、そして医療法人室原会のために努力して行きたいと思っています。

菊南病院 事務長 成松 則子

法人創立50周年、おめでとうございます。昭和33年の室原医院の開設から6年後の昭和39年に医療法人室原会が設立。その2年後に室原医院を室原病院へ拡張し、それから6年後に菊南病院の開設。法人を設立された時から構想はあったのかもしれませんが、わずか8年の間に2つの病院を開院された室原亥十二先生（現会長）のパワーに改めて驚かされます。

平成3年に私が菊南病院に入職した時は、室原病院には60床の入院ベッドがあり、亥十二先生は毎日午後、入院患者全員を院長回診されていました。介護保険の開始と同時に菊南病院へ入院機能を集約したため、室原病院はクリニックになり毎日の回診はなくなりましたが、先生は益々パワフルに健康増進事業や介護福祉事業を展開されてきました。

室原会の50年の歴史は、室原亥十二先生そのものです。その半分の20数年を先生の下で様々な事業に携われたことに、心より感謝します。

ナイチンゲールに魅せられて

菊南病院 看護部長 大森 千賀子

室原会、創立50周年おめでとうございます。私は、看護師の資格を取得してから40年程立ちます。子育て時代に一時職場を離れ専業主婦をしましたが、資格を活かし一生ものの仕事にしようと、看護職に復帰し現在も頑張っています。看護師と言えばナイチンゲールをイメージされる方は多いと思います。ナイチンゲールと言えば白衣の天使でしょうか。もちろんそうですが、統計学者でもあります。クリミア戦争（西暦1854年）での有名な話で、負傷兵でいっぱい兵舎を清潔に保つよう命令し死亡率を42%から5%へ低下させたといわれています。「ナイチンゲール看護覚書き」は、看護師たちのバイブルであり、看護の基本である「その人の価値観に添う」よう説いています。菊南病院の職員の半数以上が看護・介護職員です、その人たちに、ナイチンゲールの精神を指導しながら一歩ずつ前進していこうと思います。

安全で、心やすらぐ病院食を提供し続けて50年

栄養部部長 森田 智子

『お雛さまのお祝いに、素敵で美しく見事な創作料理でした。味も誠に美味で、とかくふさぎ込みの中で心を癒しました。ありがとう。 男性入院患者様』

『今日は母の日。家に1人で居たらこんなおごちそうはいただけませんでしたね。豆御飯初もの、どれもこれも手造り、心のこもった味でした。一つ一つかみしめかみしめいただきました。ありがとうございました。皆様に感謝しつつ… 女性入院患者様』

これはご意見の一部です。温かいメッセージを頂くと、栄養部一同、心優しいお料理が出来るように思います♥♥♥

菊南病院では入院患者様の病気の治癒や回復を図ると共に、お誕生会やお正月、ひなまつり、母の日等の行事食、週3回の選択メニューなど、安全で心のこもったおいしい病院食をご提供しております。

超高齢社会を迎え、嚥下の困難な患者様も多くおられます。当院では多職種と共同のもと、嚥下障害の患者様にも食べる喜び・おいしさを味わっていただけるように自然な素材で手作りの安全な嚥下食を提供できるように日々努力して参ります。

お花見弁当



ふつう食



えんげ食

菊南病院 健康管理部課長 中嶋 朋子

私は平成2年4月に入社し、この春で25年目を迎えます。

先日、菊南病院創立20周年記念誌（H4発行）「りはびり菊南」を読み返す機会がありました。当時22歳の私が、未知の保健分野へ進出したての新人として、亥十二先生と当時のスタッフとの座談会の中で「スタッフも施設もお客さんもない状態から始まった THP（旧労働省：心と体の健康づくりの略称）で、亥十二先生自ら営業活動も行っておられます。私も不安はありますが、営業活動でも何でもやって、20年後にはあの時の苦労が今の土台になったと振り返ることが出来るようにしたいと思っています」とコメントしていました。

20年を越えた今、多くの方々のお力添えて「政府管掌健診の指定」「THP協議会表彰」「生き生き健康教室・熊本県民会議表彰」など、形として残すことが出来ました。あの頃があったからこそ今の健康管理部があると心から思います。

これからもスタッフと共に企業の健康管理・地域高齢者教育に邁進していきたいと思えます。

菊南病院 薬剤部部長 白倉久美子

私が薬剤部に入社してからの18年間の変化を振り返ってみました。

- ①調剤室と倉庫が離れ、薬は大量仕入れ
→H13～最小包装での在庫管理
- ②薬剤情報は手書き
→H15～PCで、写真も入り独自の提供書
- ③定期薬は看護師が手作りの薬袋で払出し
→H9～クリアファイルでの払出し
- ④ほとんどの患者様は粉碎調剤
→H15～簡易懸濁法の導入
- ⑤持参薬は全て看護部まかせ
→H16～薬剤部で全て確認、薬剤選択の提案
- ⑥患者情報はカルテのみ
→H16～PCで検査値、患者情報が確認可
- ⑦注射は箱単位で払出し→H15～個別払出し
- ⑧H16～特定抗生物質使用届出制の確立…
- ⑨H16～TDM シュミレーションでの処方提案…
- ⑩H18～分包機による記名・用法の印字…

現在は処方の検討・提案など中身の充実に励んでいます。今後も、患者・医師・看護部・スタッフから安心・信頼され、顔の見える薬剤部でありたいと思えます。更なる未来に向けて、室原会の益々の発展をお祈りします。

菊南病院
リハビリテーション部部長 北里 堅二

室原会創立50周年おめでとうございます。半世紀にわたる歴史の半分以上を、自分の目で見ながら過ごせたことに大きな喜びと、かすかな誇りを覚えます。

私が菊南病院に入職した昭和61年当時は、患者様の多くは自分で移乗・移動や身の回りの動作が可能で、病院行事としての花見会や菊南パラリンピック（患者様の運動会）、クリスマスの演芸会なども開催していました。しかし徐々に入院患者様の重症化が進み、現在ではそれらの行事も行われなくなりつつあります。一方、回復期リハ病棟の開設や通所リハでのさまざまな活動等を通して、地域に密着した病院になるための努力がなされています。

これから先の社会は、超少子高齢化社会です。住み慣れた地域の中で、全ての人々が安心して生活できるための中核施設としてなくてはならない病院となるよう、職員一同一丸となって頑張っけてゆきましょう。室原会の今後益々の発展を祈念致します。

居宅支援事業所「きくなん」
管理者 田口 由利子

平成12年4月介護保険制度開始と共に居宅「きくなん」が開設されました。私達、居宅（入院・入所以外での）ケアマネージャーは、地域の方が住み慣れた場所で安心して生活が続けられるように相談や介護保険申請、更新の代行、要介護の方へケアプラン作成やサービスの調整、などの支援をさせて頂いています。

菊南病院近隣はもとより、時々室原内科小児科より電話があります。「〇〇さんの足が弱って家事など困っているから申請頼むよ」など、亥十二会長のご依頼です。少しでも早く「お困り事」を「安心」「笑顔」に変えられるように『スピーディーに・タイムリーに・スマイルで』を心掛けて訪問し対応しています。

会長、理事長を筆頭に、室原会総力でこれまで築き上げた地域への想い-信頼-を全身で感じつつ「地域包括ケアシステム」でも重要な多職種連携、自己研鑽を重ね、介護支援のプロとして利用者様に求められるケアマネージャーを目指したいと思えます。

記念の時を迎えて

藤崎 亜紀子(旧姓・吉田)

医療法人室原会 創立五十周年、水前寺高齢者複合施設 開設五周年おめでとうございます。

私が水前寺高齢者複合施設の立ち上げに参加させていただいたのは、現在休止中の室原デイサービスに勤務していた時の事でした。亥十二先生は地域の町医者として、長年医療で地域を支えてこられました。デイサービスご利用の方も「親子三代先生に診ていただいています」という方が多く、診察だけでなく「最近お母さんはどうね？」などの先生の和やかな会話もよく聞かれ、医者と患者以上の絆がありました。しかし当時は、昼間だけのデイサービスでは自宅での介護が難しくなると他の施設に移られる事が多くありました。そこで地域の方を最期まで診たいという亥十二先生の強い思いから複合施設の立ち上げが始まりました。

設計士やコンサルタント、他多くの方が先生の思いに賛同し、「自分が利用するなら…、親が入所するなら…」という思いを込めた施設が完成しました。いろ

んな問題をクリアし、やっと開設しましたが、開設後も次々に問題がおこりました。何度心が折れそうになっても頑張ってきたのは、利用者様の笑顔とご家族の協力、そしてやはり亥十二先生の利用者様への思いの強さを尊敬していたからだと思います。

今は子育てに専念する日々ですが、設立当初の事を懐かしく思い出します。利用者様の有り難いお言葉が実生活で役立ち感謝しております。

水前寺高齢者複合施設が五周年を迎えたのも現職員の並々なぬ努力あってこそだと思います。これからも室原会の益々のご発展と、水前寺高齢者複合施設が地域に根ざし住みよい施設になることをお祈りいたします。



地域包括支援センター 管理者 加世田 まゆ

振り返りますと、地域包括支援センター（以下包括）の前身である在宅介護支援センター（以下在介）に入職した平成9年、老人福祉サービスは措置でした。12年介護保険導入で時代は「措置」から「契約」に変わり、ケアマネと在介、二足のわらじを履きました。

18年の改正で包括として生まれ変わり、24年には「ささえりあ北部」と愛称がつけました。院外に移設したのもこの年です。現在担当圏域は高齢者人口約6千人。職員も8名に増員となり、相談は毎年増え続けています。在介当初20代・40代だった職員は、室原会と同様年月を重ねました。名称や場所や業務が変わっても、行政委託である限り公平中立の姿勢は共通です。室原会の皆様への何よりの感謝は、誰からも法人内サービスを強要されない事と、二つ返事で地域に出向いて下さる事。年を重ねても住み続けたい地域を目指しこれからも努力して参ります。

「祝 創立五十周年」

グループホームきくなん 管理者 小金丸 友子

グループホームきくなんがスタートしてやがて半年になろうとしています。色々な諸問題や課題がありましたが、そのつどスタッフ皆で話し合い、何とか今日まで過ごしてきました。グループホーム一年生で、スタッフ共々、不安に押し潰されそうになったりもしますが、『室原会五十周年』という大先輩を前に、すごく安心感を覚えるのも確かです。きっと、五十周年を迎えるにあたり、今まで様々な困難や苦難があったことと思います。私たち新米グループホーム一年生も室原会の職員です。皆で助け合い、これからの困難や課題にも、理念「私たちは家族です」のもと、手と手を取りあい乗り越えていける事と信じています。

祝！創立五十周年



治 革

- 昭和33年3月1日 室原医院開設(院長 室原亥十二)
- 昭和39年5月1日 医療法人室原会設立(理事長 室原亥十二)
- 昭和47年8月1日 菊南病院開設(64床/診療科目:理学療法科・循環器科)
- 昭和52年3月 菊南病院第2病棟増築完成(154床)
- 昭和53年9月30日 院内機関紙「りはびり菊南」創刊
- 平成4年3月1日 菊南病院診療科目変更
(内科・理学療法科・循環器科・消化器科・神経内科・放射線科呼吸器科・皮膚科)
- 4月1日 乳癌精密検査機関認定、THP健康測定開始(菊南病院)
- 9月1日 室原病院結核病棟廃止(一般病棟40床)
- 11月 機関紙「ふれあい広場」創刊
- 12月 「りはびり菊南」開院20周年号発刊
- 平成5年4月 人間ドック開始(菊南病院)
- 平成7年10月1日 熊本市 在宅介護支援センター「きくなん」開設
- 11月1日 老人デイケア「きくなんのいえ」開設(菊南病院)
- 平成8年5月 言語障害友の会「りんどう会」発足
- 平成9年6月 心臓リハビリテーション開始(菊南病院)
- 平成11年11月30日 訪問看護ステーション「きくなん」開設
- 平成12年4月 居宅介護支援事業所「きくなん」開設
- 平成13年2月1日 菊南病院リニューアルオープン(病床数178床)
室原病院閉院、室原内科・小児科開院
- 4月26日 菊南病院増改築竣工祝賀会(熊本ホテルキャッスル)
- 平成14年4月1日 室原内科・小児科デイサービス、ホームヘルパー事業開始
- 9月1日 室原亥十二理事長・鈴子理事、金婚夫婦表彰
- 11月 「ふれあい」10周年記念号発行
- 平成15年4月1日 政府管掌健康保険生活習慣病予防健診開始
- 平成17年3月1日 総合リハビリテーション施設承認
- 7月1日 菊南病院診療科目変更(脳神経外科を削除、整形外科を加える)
- 平成18年4月1日 熊本市北5地域包括支援センター「北斗」開設
熊本市在宅介護支援センター「きくなん」閉鎖
- 平成19年10月10日 室原亥十二理事長「生涯スポーツ功労章」受賞
- 平成20年5月12日 室原亥十二理事長春の叙勲「旭日双光章」受賞
- 12月1日 菊南病院 回復期リハビリテーション病棟開設(36床)
- 平成21年3月10日 医療法人室原会 水前寺高齢者複合施設オープン
- 平成24年4月1日 熊本市北5地域包括支援センター「北斗」が政令市移行に伴い、
熊本市高齢者支援センターささえりあ北部へ名称変更、移転
- 平成25年10月1日 菊南病院 医療療養病床開設(50床)
- 12月1日 医療法人室原会 グループホームきくなん オープン
- 平成26年3月 医療法人室原会 理事長交代
会長に室原亥十二・理事長に室原良治就任



菊南病院(開設当時)



菊南病院(開設当時航空写真)



菊南病院リニューアル



ささえりあ北部



グループホームきくなん

菊南病院に勤務して13年目になる 靈感のない消化器と乳腺の外科医

医療法人菊南病院 副院長

加古博史

大学を卒業して以来、これまでいくつかの病院に勤務してきました。最も長く勤務した病院は熊本大学附属病院の第2外科という診療科で、そこでは主に胃癌や大腸癌、食道癌、そして乳癌を研究していました。大学院の4年間を含めると21年間勤務し、その次に長いのが現在の病院ということになります（ちなみに3番目は熊本赤十字病院外科での2年6ヶ月です）。

今日は午後5時までの勤務を終えた後、週に一度の当直で病院に泊まる日。当直は月に4回、年間に48日です。1ヶ月半以上も病院に寝泊まりしてきたことになりました。

抗癌剤治療で5回目入院中の患者や、誤嚥性肺炎を繰り返す療養病棟にいたる入所者のことを考えながら、また、東日本大震災復興の遅れ、東京電力原発のメルトダウンとその後、ロシアによるウクライナ国家主権の侵害、STAP細胞と小保方さ

ん、一人暮らしをしている母のこと、3年も直らない自宅の雨漏り……いくつかの気にかかることを思いながら、病棟からのコールの合間に机のパソコンに向かって仕事をしたり、医療情報を集めたりしている。

明日は当直明け。しかし仕事はいつものように午前午後と胃と大腸の内視鏡検査が予定され、病棟管理もある……これまでも外科医として当直明けでも内視鏡検査や手術をこなしてきましたが、それを受ける側にとってはそれこそ危なくて心配でたまらないはず……これは、たとえば「二日酔いの運転」みたいなもので、「飲酒したけど酔ってないから大丈夫」というのを「当直であまり寝てないけど大丈夫」と置き換えることができるのかも知れない……こういうリスクのあるシステムは昨今では随分と改善されたと聞いている……

ところで、私には靈感というもの

がないらしいのです。というのも、私は幽霊を見たことがないからで（見たことがある人の方がきつと少ないはず）、心靈スポットが好きなら妻から言わせるとそういうことになるらしい。仕事柄、私はこれまで多くの人たち（おそらく、21300人になるかもしれない）の最期を見て取ってきた。診療がうまくいったときは「名医」と言われ、うまくいかなかったときは、それぞれ「藪医者」ということになる。だから、看取ってきた人のなかでも一人くらいは怨霊となつて恨みごとを言ったり、逆に、「お世話になりました」くらいは言いにくることがあつてもいいと思うのだが、そういうことも無かつた。たぶん恨みを抱えた幽霊が時々枕元にたつているのにもかかわらず、靈感のない（鈍感という意味では決してない）私がそれに気付かないだけかもしれません。

そういうえば研修医の頃、外科病棟で夜中に自分で撮影したレントゲンフィルムを現像するために、たったひとりフィルムカセットを携えて大学病院の真つ暗な（足元は本当に暗くて、眼が闇に慣れるまでは無重力の浮遊感すら感じた）、人気がない外来棟へと通じる長い廊下を放射線部の現像室まで歩くときは、子供が夜中に怖くてトイレに行けないのと似たような情けない気持ちに

なつていた。そういう時は、たいがい辿り着くまで小さな声で歌を唄っていたことを思い出した。その頃、一番勇ましくて幽霊がいても吹き飛ばしそうな、反宗教的だと思えた歌
：頬青き学生時代に覚えた「インターナショナル」：一番と2番の歌詞がごちゃ混ぜになりながら唄つた。

起て飢えたる者よ 今ぞ日は近し
：（中略）：ああインターナショナル 我らがもの！

声は小さいけれど、「皆の上にはわれらの世界を」のように赤や白のヘルメットを被り、タオルで覆面した（催涙ガス対策でもある）仲間が何人かいるつもりになる。それでもまっすぐ前を向いたまま後ろを振り向くなんてことはできなかった……誰かが（幽霊！）ひたひたと冷えた足で後をついていそいで、不安で……

そして、とりあえずまだ幽霊に出会ったことがないと言える。

そんな臆病な私でも、「高くて、固い壁があり、それにぶつかつて壊れる卵があるとしたら、私は常に卵側に立つ」（村上春樹）⁴というような弱者に味方する確かな信条には少なからず心を動かされてしまい、



■プロフィール

- 熊本大学医学部卒業（昭和51年）
- 日本外科学会専門医（指導医）/日本消化器外科学会専門医（指導医）、消化器がん外科治療認定医/日本消化器内視鏡学会専門医（指導医）/日本乳癌学会認定医/麻酔科標榜医/病理解剖認定医
- 日本消化器内視鏡学会 九州支部評議員

おもわず眼頭が熱くなることもある。ですから、消化器・乳腺の外科医として一人前になるころには、癌をどんどん手術してしまう勇ましい側の外科医ではなくて、どちらかというとその対側について、「卵側に立つ」ように、縮小手術や機能温存手術、腹腔鏡による手術などの優しい手術を目指してきました。

以前は、菊南病院でも熊本地域医療センターに向いて菊南病院の患者の手術を執刀していましたが、徐々に癌の手術をすることはなくなり、今ではほとんど手術はしません。そのかわり、胃癌・大腸癌や乳癌の「診断」、そして「治療」は、内視鏡による治療、ホルモン療法やほとんどの抗癌剤治療、最先端の分子標的治療、癌からの苦痛を軽減する治療やホスピス（緩和医療）が行えるようにしました（薬剤部や看護スタッフの理解と協力に感謝！）。

癌の治療は外来診療だけでなく、療養施設に入所していてもその人の人生にとって大きな意味を持つことがあるので、そんな期待に添うことができればいいなと考えています。

13年目です…

- 《注 釈》
- 1) フィルムカセット…カセット（仏語：cassette）とは、レントゲン写真で用いるフィルムを装填する入れ物のこと（現在のデジタル撮影では使用されない）。
 - 2) インターナショナル…社会主義者の歌の一つ。歌としての分類は革命歌に属する。1917年から1944年の間、ソビエト連邦の国歌でもあった。
 - 3) 「岩の上にわれらの世界を」 東京大学全学共闘会議（1969）
 - 4) 「壁と卵エルサレム賞受賞スピーチ」 村上春樹事務所（2009）

平成26年度医療法人室原会 入社式・新人研修

4月1日に菊南病院で行われた入社式にて、今年度は19名の新入職員が入職しました。



入社式



研修の様子

式の後には、新人・中途入職者を対象に3日間の新人研修が行われました。病院に関する事はもちろん、医療安全や感染対策、接遇や介護体験、救急蘇生法など、多岐にわたる研修が行われ、長時間の研修にも関わらず皆さん真剣に受講されていました。

研修後はそれぞれの施設・部署に配属、今後の室原会の大きな力になってくれることと期待しています。

竹田市の「岡城跡」

4月3日竹田市の「岡城跡」へ桜を見に行ってきました。熊本の桜は散り始めていましたが、竹田市の桜はちょうど満開でとても綺麗でした。「日本の桜名所100選」に選ばれただけあり、残された石垣と一緒に映る桜が見事でした。

帰りは残念ながら雨が降り出してしまいました。あっという間の楽しい一日でした。

先生ありがとうございました。



熊本城マラソンに参加しました



去る、2月16日(日)第3回熊本城マラソンが開催され当院職員有志で参加してきました。

冬の晴れ間のお天気で、気候もよく最高のマラソン日和でした。

今年は幸山市長もフルマラソンに出場され、また川内選手の応援も多く多に盛り上がった大会でした。昨年発足した「菊南病院ランニングクラブ」メンバーで定期的に練習を重ね吉村先生が30km、中嶋・藤野・江崎がフルマラソンに出場しました。興味がある方は是非一緒に走りましょう！(健康管理部 中嶋)

室原ハツラツお花見ウォーク

3月19日(水)熊本城にウォーキングに行ってきました。寒の戻りで肌寒いかと思いきや、春の陽気に迎えられ絶好のウォーキング日和となりました。駐車場で準備運動をし、交通局まで1km、鶴屋前で2km、二の丸公園まで3kmを約50分、自分のペースで歩きました。到着後は二の丸公園の芝生の上を各自ウォーキングやスロージョギングを15分行いました。参加者の方からチョコレートの差し入れを食べながら小休止。どこからともなくボールが舞い込んできて、円になりボール投げを楽しみました。二の丸公園で解散し、その後は皆さん城彩苑や鶴屋によられて帰られるとの事でした。次は5月に立田山ウォーキングを計画しています。



生きがい塾

3月の生きがい塾では、平田ナーセリーより「3月・4月の鉢植えの花」についてお話し頂きました。

直ぐに使えるお話や、日頃気になっていた事等も聞くことができたようで、皆さん参考になったと喜んでおられました。

また、気に入ったお花の手入れ法を熱心に尋ねて購入されていました。花の苗のお土産も頂き、皆様のお庭も明るくなったことと思います。



熊本市駅伝大会

平成26年3月1日(土)、うまかなよかなスタジアムサブトラックにおいて「第67回熊本市駅伝大会」が開催され、菊南病院RC(ランニングクラブ)は2チーム出場いたしました。

出場44チーム中Aチームは7位、Bチームは32位という結果でした。

Aチームは、残念ながら入賞は逃しましたが、6位と1秒差という素晴らしい成績でした。来年は入賞を狙って各人が練習に励もうと思います!?

菊南病院RCは平成24年度に発足、平成25年度は『一人30秒短縮プロジェクト』と称し、月に1~2回の合同練習会を行い、年度の締めくくりとして皆で駅伝に出場しました。

当日は緊張感漂う中、走り終わった選手もすぐに応援に回り、補欠選手もタイムをとるなど部員全員団結し、駅伝の醍醐味を味わうことができました。

ただいま部員募集中です。興味のある方は健康管理部藤野(マネージャー)までご連絡ください。



《エネルギー削減プロジェクト報告》

菊南病院では、平成21年度より「環境にやさしい病院運営」として、「エネルギー削減プロジェクト」を開始致しました。

エネルギー削減プロジェクト開始前の平成20年度使用量を基準に、院内全体で削減に努めてまいりました。

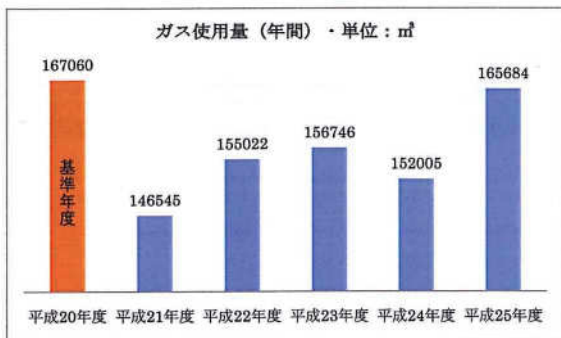
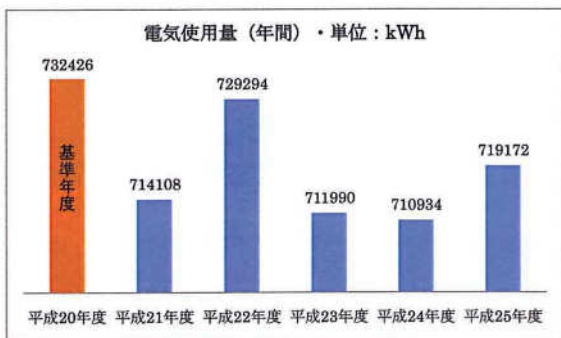
その結果、電気及びガスはプロジェクト開始以来のこの5年間、すべての年度において使用量が平成20年度を下回っております（図参照）。

職員一人一人の削減意識により達成できた成果であり、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

この削減成果の一部はその努力に報いて、当院職員の為に何かの形で還元させたいと思います。

引き続きプロジェクトを継続・推進していきますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。

室原 亥十二



「室原ハツラツ運動教室のご案内」

室原内科小児科では、4月より「ハツラツ運動教室（春のクール）」をスタートします。担当する健康運動指導士の二人（中嶋・小中）も張り切って皆さんに楽しんでいただける教室にしていきたいと思っております。

随時見学も行ってまいりますので、興味のある方はお気軽にご参加ください。

（水曜クラス）

4月 16日、30日
5月 7日、21日
6月 4日、18日

- ご都合がよい日にご参加できます。
- 月2回 水曜日 10:00～11:30
- 担当 中嶋 朋子
- 定員：1クール20名
- 費用：1回 ¥500

（金曜午前コース）

4月 18日、25日
5月 9日、16日、23日
6月 6日、13日、20日

- 春のクール 4月～6月（計8回）
- 毎週 金曜日 10:00～11:30
- 担当 小中 幸樹

（金曜午後やさしいコース）

4月 18日、25日
5月 9日、16日、23日
6月 6日、13日、20日

- 春のクール 4月～6月（計8回）
- 毎週 金曜日 13:00～14:30
- 担当 小中 幸樹
- 定員：1クール20名
- 会費：1クール8回 ¥4,000

★用意するもの★

- ・室内シューズ タオル 飲み物
- ・動きやすい服装でご参加ください。
- ・疾患をお持ちの方は事前に医師の許可が必要となります。

お問い合わせ：室原内科小児科 (096)364-3080

ひなまつり 《まモンおにぎり》



お花見



うりぼう



～ 施設の楽しい行事を紹介します。～

水前寺高齢者複合施設
小規模多機能 いとし
グループホーム 鈴の音
水前寺有料老人ホーム

新春お茶会

職員がお茶を点てて、ご利用者様がお茶菓子のお芋の茶巾しぼりを作りました。みなさん、お茶会を楽しめました。



にっこにっこ会

当施設では「にっこにっこ会」と題して毎月行事を行っています。上段が2月の演奏会、下段が3月のバレー大会の写真です。



《ハーモニカ・アコーディオン・ピアノの演奏です みなさん、聴き入ってましたよ》



《各階対抗で行い、3階有料老人ホームの皆さんが優勝しました》

皆さん!頑張ってます

写真は2階グループホームの押しずし作り、1階・3階のひな祭りの作品作りです



《色合いも良く、おいしく出来上がりました》



ドクター古庄のサイクリング紀行

菊南病院 副院長
古庄 伸行

17. 石橋を巡る

ご存知の方も多いと思いますが、九州には多くの古い石橋が残されています。熊本でも、特に八代市、宇城市、美里町、山都町など県南部に多くの石橋が残存しています。中でも通潤橋や霊台橋などは交通のアクセスも割に良いところにあり、多くの観光客が訪れています。しかし多くの石橋は交通の便の悪い、谷あいの比較的道の狭い地域にあります。つまり坂道は多いものの、自転車で訪れるのに都合の良い場所にあるのです。

自転車に乗り出してから約6年。これまで多くの石橋を訪れましたが、中でも印象に残るのは御船町上野にある八勢（やせ）眼鏡橋です。熊本と宮崎を結ぶ日向往還の、八勢川を渡る難所に造られたその石橋は、それに続く階段状の石畳など当時の人々の往来を感じさせ周囲の雰囲気とも相まって時間が止まったような錯覚を起こします。特に桜の頃は一段と良く、毎年訪れたいくなる石橋のひとつです。

その他にも、小さいけど雰囲気の良い石橋があちこちにあり、それらを見つけて廻るのもサイクリングの楽しみのひとつなのです。



桜の頃の八勢眼鏡橋

DO
SPORTS

スポーツと私

第4回 —Ski Heil!—



副院長 循環器科
赤星 隆一郎

Ski Heil! (シーハイル) とはドイツ語でスキー万歳と言う意味です。高校生の時にスキーの虜になったのですが、前回で書いた様に大学時代に山を諦めざるを得なくなり、スキーも出来ませんでした。卒業して医師になってはみたものの、一人前の医師になるためには厳しいトレーニングと過酷な勤務が待っており登山等出来る筈もありませんでした。詳しいいきさつは省略しますが、29才の時循環器科を志して埼玉県国立所沢病院に就職しました。トレーニングは厳しく、私生活が無いような毎日でした。病院の近くに狭山の屋内スキー場があり、10月の中頃オープンします。屋内とはいえ、手軽にスキーが出来るという事でせっせと通いました。熊本出身の若い医師が多く、すぐに全員スキーに熱中しました。同じ病院の脳外科の先生が学生時代山岳部だったという事で、スキーを一から教わりました。本格的なスキー場に行こうという事になり、毎朝早起きしてランニングを始めました。最も頻繁に行ったのは苗場スキー場です。順天堂大学山岳部の山小屋があり、脳外科の先生の連れという事で無料で泊めてもらいました。食事の支度や雪おろしは自分達でやる必要はありましたが、それも楽しい思い出です。苗場以外にも柵池、万座、

草津、湯沢、八方尾根等のスキー場に行きました。金曜の夜出発して、日曜の夜か月曜の早朝帰るというハードなスケジュールでしたが、スキーを満喫しました。多忙な勤務の合間に、このような事が出来たのは、やる気と指導医の理解のおかげです。何かやりたい事があると、人はあらゆる障害を排除して無いはずの時間を作り出すものです。スキーは上手下手に関係なく、自分の能力に応じて誰もが楽しめる素晴らしいスポーツです。



八方尾根スキー場から白馬三山(左から「白馬鑓」「杓子」「白馬」)

◆外来担当医当番表◆

平成25年11月～

菊南病院

		月	火	水	木	金	土
午前	1診	室原	赤星	室原	梅田	赤星	室原
診療 (9時～12時)	2診	古庄	加古	古庄	加古	加古	吉村
受付 (9時～11時)	3診	整形外科 前田(予約)	整形外科 前田(予約)	吉村	呼吸器科 松岡(予約)	整形外科 前田(予約)	梅田 (第2・第4)
午後	1診	梅田 (予約)	梅田 (予約)	室原 (予約)	室原 (予約)	梅田 (予約)	
診療・受付 (13時～17時)	2診	中島	中島	古庄	吉村	禁煙外来 古庄(予約)	休診
	3診		—	神経内科 14時～17時 守屋(隔週)	—	赤星	

●休診日：日曜、祝日、年末年始等 ※但し、急患の場合はこの限りではありません。

—医師情報—

松岡	呼吸器 ※要予約(14:00～)
守屋	神経内科 (事前にご確認下さい)

★都合により受付終了時間が早まる場合がございます。ご了承くださいませ★

平成26年1月現在

室原内科・小児科

		月	火	水	木	金	土
午前	室原亥十二	室原亥十二 ★動脈硬化検査 (第3火曜日)	室原亥十二 高血圧外来 (梅田Dr)	休診	休診	室原亥十二 腹部エコー検査 (第2・第4)	室原亥十二 糖尿病外来 (後藤Dr) ★動脈硬化検査 (第1土曜日)
午後	室原亥十二	室原亥十二 ★動脈硬化検査 (第3火曜日)	室原亥十二 喘息外来 (藤井Dr)	休診	休診	室原亥十二 心臓外来 (室原良治Dr)	室原亥十二 心臓外来 (室原良治Dr)

☆午前8:30～12:00 午後1:30～3:00

●診察日・時間：月～土曜日(木曜日を除く) 午前8:30～午後6:00

●休診日・時間：木曜日・日曜日・祝祭日・年末年始等

★動脈硬化検査
(第1土曜日)

《その他の教室》毎月第2火曜日 午後2:00より「生きがい塾」

編集後記

編集長 室原 鈴子

ふれあい75号は「医療法人室原会創立50周年」と「新理事長に室原良治(菊南病院院長)就任」という記事を集めました。前理事長室原亥十二は、人生は努力。勇気。チャレンジ精神。をモットーに、猪突猛進で走り続けてきました。幸い、良治が父の意志を紡いで受け継いでくれた事に感謝で一杯です。

先日、机の整理をしていたらセピア色の名刺が出てきました。当時の中原菊南病院長時代、私がピンチヒッターで上京し「THPの研修」に行き二日間のレポートを報告しました。その時名誉院長の中原先生が「女で良く頑張ったなアーよか報告だった!!」とほめて下さった喜びは、忘れられません。その後は早速、成松事務局長と熊本の各企業を訪問し、今の健康管理部を育てました。出張健康診断車として地元でも好評で活躍しております。

又、公私とも大変お世話になり一同尊敬申し上げている熊本機能病院会長・総院長の米満弘之先生の心温まる御祝詞、ありがとうございます。

室原会の多くの方々の熱いメッセージの数々にも、心より厚く御礼申し上げます。

先人の「和を以て貴しとなす」の言葉の様に、発展の原点は和が大事だと思います。職員一人一人、病院長になったつもりで、総参加型制度で新理事長をサポートして下さい。

大きな夢を抱き続けて深く行きぬいた佳江理事も、天国で精一杯応援してくれていると信じております。

「希望は愛によって生じ愛は希望によって育てられる」と申します。どうか皆様!!今迄にもまして、ご支援ご尽力を切にお願い申し上げます。